

「読書案内・読書会」（こひつじ文庫大人部）のご案内

NHKの「100分de名著」・「カルチャーラジオ」等で紹介された名著を参考にして、「読書案内・読書会」を行っています。「読書案内人」（専門は化学）は、取り上げるほとんどのテーマについて全くの素人ですが、「名著」のあらすじや背景を紹介させていただき、参加された方々と「名著」の感想などを語り合っています。

予習の必要はありませんので、どなた様も気軽にご参加ください。

次回開催予定とテーマ：

・2019年4月13日（土）13:00-14:20

・『大衆の反逆』（オルテガ）

オルテガ・イ・ガセット（スペインの哲学者・評論家）が、1930年に出版した本です。当時、ヨーロッパ諸国は第一次世界大戦により疲弊していました。一方で、新興国アメリカが著しい経済発展を示し、ロシアには革命により共産主義国家が出現していました。さらに、ナチス、ファシストに率いられて、民族主義を煽る全体主義国家が登場しつつありました。

人々が自信を失っていたそのような時代に、オルテガは、全体主義に対してはヨーロッパの伝統である自由主義を主張し、また、民族主義に対しては将来の国家のあるべき姿としての国家共同体（国際連携）の重要性を主張しています。それとともに、危機の根底に、「慢心したお坊ちゃん」となってしまった「大衆」があることを嘆き、そのことを警告しています。

関係するやさしい本としては、『子どもたちに語るヨーロッパ史』（ゴフ著、ちくま学芸文庫）があります。94～148ページ内容はオルテガの主張と重なっていると思います。また、現在（2月中）、NHK番組『100分de名著』で『大衆の反逆』が取り上げられています。

・資料・茶菓代：200円

これまでに取り上げた図書：

『パンセ』（パスカル）、『相対性理論』（アインシュタイン）、『幸福論』（アラン、ヒルティエ）、『こころ』（夏目漱石）、『代表的日本人』（内村鑑三）、『武士道』（新渡戸稲造）、『高慢と偏見』（オースティン）、『星の王子様』（サン＝テグジュペリ）、『銀河鉄道の夜』（宮沢賢治）、『永遠平和のために』（カント）、『旧約聖書』、『斜陽』（太宰治）、『罪と罰』（ドストエフスキー）、『カラマゾフの兄弟』（ドストエフスキー）、『銀の匙』（中勘助）

図書の貸出し（児童書＋大人用図書）

「こひつじ文庫」（児童文庫）に、大人向け本も設置していますのでご利用ください。
貸出し時間：毎週土曜日の14:00 - 16:00

読書会に関する問合せ先：shinkoukouen@gmail.com

神港教会

神戸市灘区山田町3丁目1-12

阪急「六甲」駅から北に約3分